

# 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8355
担当部課名	保健福祉部	障害福祉課		
事務事業名	更生施設等通園・通所者交通費助成		事業コード	11310

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	安心して生活できる福祉社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第3節	障害者の自立支援を社会参加	4年度
施策名	第1施策	自立した生活を実現するための環境づくり	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市障害者施設通所交通費助成金支給要綱
-----------------------

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
相模原市に在住する障害者が、更生施設等への通所に要する交通費の一部を助成することにより、障害者の経済負担を軽減し、福祉の増進を図ることを目的とする。		市内在住の障害者	
		対象数	1552人
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
(支給内容) 往復に要する交通費に助成の対象期間中に通所した日数を乗じて得た額の2分の1。定期乗車券を利用する場合は助成の対象期間に必要とする定期乗車券の額の2分の1。 (支給人数実績) 実人数 相模原福祉事務所 788人 南福祉事務所 764人 合計 1552人 <平成13年度決算内訳> 交通費助成金 41,607,160円		(5) 個別計画の概要 計画名 計画年次 年度～年度	

4 評価指標

指標名	助成金支給状況		
指標式	支給者 / 申請者 × 100		
指標設定の意図	申請者に対する、対応状況を表す。		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	100	100	a 100	b 100	100	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	37,053	37,827	41,608	41,151	43,030
	人員・時間数	0.25人	0.25人	0.25人	0.25人	0.25人
	人件費	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100
	その他経費					
	合計	39,153	39,927	43,708	43,251	45,130
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価	A : 達成している ( 100%) B : 一部達成していない(100%> 80%) C : 達成していない ( 80%> )	= 、 、 の平均値 = 100.0%
	$\frac{a}{b} \times 100 = \frac{100.0}{100.0} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$ $\frac{e}{f} \times 100 =$
理由 :	現在、全ての申請者に対して、助成しており、経済負担の軽減という目的は十分達成している。	
(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価	A : 適応している B : 一部適応していない C : 適応していない	理由 : 景気低迷の中、障害者を取り巻く経済環境は非常に厳しい状況にあり、経済負担軽減の一助としての必要性は高い。
(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価	A : 妥当である B : 一部妥当でない C : 妥当でない	理由 : 助成を受けた障害者の大半が、更生施設へ継続的に通所することができており、費用対効果は妥当である。
(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価	A : 代替の可能性ない B : 代替の可能性低い C : 代替の可能性高い	理由 : 障害者の自立支援及び社会参加を目指した事業であり、市が実施していくことが適当である。
(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価	A : 満足できる B : 一部満足できない C : 満足できない	理由 : 申請者全てに対して、助成しているため、満足できる。
(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価	A : 有効である B : 一部有効である C : 有効でない	理由 : 障害者の更生施設等に通り、作業を行ったりコミュニケーションを深めたりすることは、自立支援の一つとして非常に有効である。

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 現制度内での最大限の対応をしている。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 既に最小限の職員で行っている事業であり、これ以上のコスト削減は困難。

7 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	助成金の算出基準は多少異なるものの、横浜市・鎌倉市を始めとする県内外の多くの自治体で同様の事業を行っている。
今後の進め方			
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	障害者が更生施設等に通り、作業を行ったりコミュニケーションを深めたりすることは、社会参加を促進していくうえで必要なことであり、その一助として、本事業は今後も継続していく。
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--